

あなたの行動が大切な命を救う 知っておきたい脳卒中

問い合わせ 健康づくり課 ☎229-3310 ✉229-3346

脳卒中は、脳の血管が詰まったり破れたりすることで、脳がダメージを受けてしまう病気です。「脳梗塞」「脳出血」「くも膜下出血」に分類されます。国内の患者数は約111万人で、介護が必要となる原因の第2位の病気です。津市では死亡原因の第

3位となっています(平成29年「三重県の人口動態」より)。

脳卒中は冬に起こるものと思われがちですが、夏にも脱水症状から脳梗塞を発症することがあるため注意が必要です。

FAST(ファスト)を確認して、いち早く脳梗塞を発見

脳梗塞は脳卒中の中で最も多く、動脈硬化(血管の老化)や不整脈などにより起こります。顔(Face)・腕(Arm)・言葉(Speech)の異変に気付いたら、発症時刻を確認し、以下の症状が1つでもあれば一刻も早く(Time)「119番」に電話して救急車を呼ぶことが大切です。一時的で自然に症状が消えた場合でも、脳梗塞の前触れと考えられます。速やかに受診しましょう。

Face

顔のまひ



- ✓ 顔がゆがむ
- ✓ 笑顔が作れない
- ✓ 片方の口角が下がる

Arm

腕のまひ



- ✓ 片方の腕が動かない
- ✓ 両腕を伸ばすと片方の腕が下がる

Speech

言葉の障がい



- ✓ 言葉が出てこない
- ✓ ろれつが回らない

Time

時間



発症時刻を確認し、すぐに救急車を呼びましょう!

119番

脳卒中発症後は時間との戦い!

検査時間も含め、発症から3時間以内に治療可能な病院に到着することが望ましいといわれています。

脳梗塞の最先端治療

①血栓(血の塊)を溶かす薬(tPA)による治療

脳の血流を再開させて、脳の組織が壊れてしまうのを防ぎます。発症後4時間半以内の治療が有効です。

②血管内治療

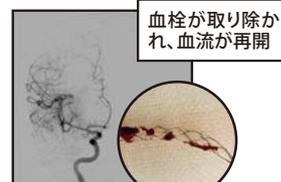
脳の血管にカテーテルを通し、血栓を直接取り除きます。発症後8時間以内の治療が有効です。

血管内治療前



ここが詰まり、血流が止まっている

血管内治療後



血栓が取り除かれ、血流が再開

取り除かれた血栓